

第 22 回子ども・子育て会議の意見一覧表

●子ども・子育て支援事業計画に基づく施策の進捗状況について

① 利用者支援事業について

母子保健型と基本型の認識が曖昧だった。「5年間の対応」として考えられていた。子育て支援センター、児童館等、保育園、幼稚園などの子育て関係機関、町内の子育て支援に関わるボランティア団体や NPO 法人等との横の繋がり強化については具体化する方策が考えられているか。

② 放課後子ども教室に関して、今後詳細な説明を聞ける機会があるか。

③ 保育園の審査で育休延長のために待機児童になりたい人や本当に働きたいけど待機児童になってしまう人の審査方法が難しいことを知り改善する必要があると感じた。

④ 葉山町の「地域子ども・子育て支援事業」の全事業の中で実施されていない事業に「子育て短期支援事業」がある。実施されてこなかった理由として、これまでに実績がないため「ニーズなし」との判断からと思うが、先般の会議では鎌倉三浦地域児童相談所の話で昨年度の葉山町からの保護件数は10件だったと伺った。「児童相談所の一時保護で対応する」とのことではあるが、年間で葉山町に10件の保護すべき児童がおり、これを町内では対応できなかったことはいささか驚いた。これが良いのか悪いのかは判断できないが、少なくとも虐待や保護者の病気により保護される必要のある児童が10名もいたことを切実に受け止めるべきではないかと思う。

神奈川県は大阪府に次いで全国でも虐待が多いそうだが、がんなどの疾病を患う人が増えている昨今、治療のために子育てが困難になる家庭も増えている。(がんになる子育て中の保護者は全国で年間に6万人増加している)

現に、小学生のお子さんを育てながらがん治療を行っていた人が葉山の身近にもいた。がんについて言えば今は「2人に1人ががんになる」時代である。がんなどの疾病を抱える子育て中のお父さんお母さんをサポートする仕組みが求められているのは必然な流れだと思う。これらの一助に「子育て短期支援事業」を実施することがなり得るのではないかと考えている。

●次期子ども・子育て支援事業計画について

- ① ニーズ調査に関して、アンケートの結果にもよると思うが、どれくらいの期間や数があれば変更改善するかを知りたい。
- ② ニーズ調査アンケートに関して
アンケート作成中に各委員だけでなく関係機関の意見を伺う機会があるか。
- ③ 「地域の子育て支援事業」の利用状況について
前回のアンケートでは、約半数の人が「利用していない」、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」となっているが、このアンケートの対象が0歳から5歳の未就学児で、その内定期的な教育・保育事業を利用している人が6割なので、物理的に「地域の子育て支援事業」を利用する時間が無いとも考えられる。
「地域の子育て支援事業」の利用についても年齢別の聞き取りがあると良いと思う。
- ④ ニーズ調査について
フルタイム・パートの分類だけでなく、フルタイムでも正規と非正規の分類が必要と思う。
- ⑤ 「育児をサポートする会社の制度の有無・内容」と、その制度を「利用するか」「利用しないか」等の設問が必要と思う。
- ⑥ 保護者の年齢の設問が必要と思う。若くても安心して子育てができる環境があるべきと思う。
- ⑦ 放課後子ども教室の質問項目が必要と思う。